確かな学びと豊かな心･健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価書】

堺 市 立 百舌鳥小学校
校 長　川　口　和　義

中学校区におけるめざす子ども像

〇自分の考えを伝え合い，学びを深め，その知識を活用することができる子　　〇互いに認め合い　協力し合う子　　〇自他の体を大切にし　健やかでたくましい子

令和６年度　重点目標

郷土百舌鳥を愛し，心豊かにたくましく生きていく児童の育成をめざす

（１）「総合的な学力」の育成　　（２）友だちのよさを認め，自分を大切にする子の育成　　（３）体力の向上と健康的な生活習慣の確立　　（４）郷土百舌鳥を愛する子の育成

「確かな学び」の現状

去年度の研究授業では，ICT や資料の活用，話し合い，書くことなどを通して，児童の思いや考えを表現する力を育成してきた。教育アンケートの「授業中，自分の考えをペアやグループ・全体で伝えている」では，低学年で 76.6%，高学年で 71.6%の児童が肯定的に答えている。今年度は，重点目標「自分の思いや考えを表現する力の育成」に加えて，学年別の目標を新たに設定する。系統立てた目標にすることで，より確実に重点目標の達成にせまれるのではないかと考える。

（低）自分の考えをもつ。（中）自分の考えを表現する様々な方法を知る。（高）目的や意図に応じて方法を選び，伝える。

全国学力・学習状況調査において，（国語）「図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」・「目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかをみる」問題で，課題がみられる。図表やグラフなどの資料から情報を読み取り，目的に応じて自分の思いや考えを書く力もつけていきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

◇豊かな心◇

・学校教育アンケートの結果より，自己肯定感の評価は低学年の 90.4%，高学年の 83.9%が高い評価をしている。引き続き，自尊感情の高い児童の育成をめざす。

◇健やかな体◇

・学校教育アンケートの結果より，外遊びの肯定評価は 79.8%だが，高学年は 68.9%と課題がみられる。新体力テストの結果から，全児童対象で堺市平均と比較すると握力やジャンプ力や柔軟性に課題がある。また，腹筋や投げる力は堺市平均を上回っている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組，★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～2 学期末）		達成状況（年度末）自己評価		学校関係者評価	
確かな学び		学習規律（学習準備，姿勢，発言，聞き方など）を身につける。	普段の授業や活動において全員参加をめざし，百舌鳥スタンダード（根底）に全職員が取り組む。	「百舌鳥スタンダード（根底）に取り組んでいる」肯定評価９０%以上 学校評価アンケート（教職員）	学校教育アンケート（教職員）	２学期	◎	教職員アンケート 約９０%の肯定回答	◎	百舌鳥スタンダード（根底）や，学習課題を意識した問題解決型の授業づくりを行うことができた。また，必ず自分の思いや，考えを伝える時間を設定することができた。 児童は，自分の思いや考えを伝える力がついてきたが，今後も取り組みを継続し，自分の考えを意欲的に伝えられるようにしていく。	◎	・百舌鳥スタンダード（根底）に，引き続き取り組んでもらいたい。 ・授業参観を見ていると，先生方の課題設定に工夫がみられる。
		学習課題をつかみ，自分で考え，表現することができる。	学習課題を意識し，教材それぞれで何を教えるのかを明確にして授業を行う。 ●★自分の考えをペアや全体で伝える機会を確保する。	「課題意識」肯定評価90%以上（教職員） 「自分の考えを伝える」肯定評価 70%以上（児童）	学校教育アンケート（教職員・児童）	２学期	◎	教職員アンケート約９７%の肯定回答 児童アンケート約７８%の肯定回答。	◎		◎	
		自分の考えだけでなく，友だちの考え，新たな気づきをふり返ることができる。	自分の思考の過程を整理し，深めるための構造的なノートづくりを意識して授業を行う。	「自分の考えを書かせる」肯定評価 90%以上（教職員） 「ノートに自分の考えを書いている」肯定評価 75%以上（児童）	学校教育アンケート（教職員・児童）	２学期	◎	教職員アンケート約９１%の肯定回答 児童アンケート約８２%の肯定回答。	◎	自分の思いや考えをノートに書くことで，自分の意見の整理をし，書いたことを友だちに伝え話し合うことで自分の考えを深められるよう，取り組みを継続していく。	◎	・自学については，学校と家庭の協力が必要だと思う。今後も，協力して取り組んでいってほしい。 ・一部の児童だけでなく，皆が活躍する場面をつくって欲しい。
		学校での学習をふり返ったり，新たな課題を見つけたりする自主学習に取り組めるようにする。	自主学習ノートを全員が所持し，低・中・高学年ごとに取組例を示し，紹介や点検・評価を充実させる。	「進んで自学に取り組む」肯定評価 70%以上（児童）	学校教育アンケート（児童）	２学期	◎	児童アンケート 約７８%の肯定回答。	◎	取り組みを継続し，習慣化を図る。	◎	
		教員全員が子どもたちが全員参加でき，深い学びとなる授業をめざす。	●学年で研究授業をし，授業力を向上させる。	「研修体制は，子どもたちが全員参加でき，深い学びとなる授業をめざすことにつながっていたか。」肯定評価 80%以上（教職員）	学校教育アンケート（教職員）	２学期 年度末	△	教職員アンケート 約６９%の肯定回答	△	今後は，授業改善につながる研修の機会を増やしたり，児童に良い還元ができるような研修を充実させていく。	△	
豊かな心･健やかな体		・教育活動の中で，豊かな人間性を育成する。 ・いじめのない互いに寄り添い，理解しあう集団作りをめざす。 ・清掃活動を集中して行えるよう努力し，清潔な学校にする。	児童一人一人の自己肯定感や自尊感情を醸成し，自他ともに価値を尊重する意欲，態度を育てる。	児童アンケート自己肯定感評価 (A:85%↑B:70-85%C:50-70%D:50%↓)	学校教育アンケート（児童）	２学期	◎	児童アンケート 低学年　約９３%の肯定回答 高学年　約８５%の肯定回答	◎	日々の学校生活で積極的に行動しようとする児童が多く，また他の児童の頑張りも素直な気持ちで評価できる体制ができている。 生活アンケートや普段の児童とのかかわりの中からいじめにつながる事例を未然もしくは初期段階で取り組み防げることが多かった。また共有することにより，継続して見守る体制ができている。清掃活動をまじめに取り組む児童は多い。スリッパをそろえるなど身の回りの整理整頓を引き続き啓発していく。	◎	・今後も，子どもたちが認められる，学校が楽しいと思える機会を多く作ってほしい。 ・掃除については，自分たちが汚したところは，自分たちで綺麗にすることが必要だと思うので，引き続き，啓発をお願いします。
			未然防止を目的とした生活アンケートは学期１回を基本とし行い，情報収集し，共有する。 各教科と連携し，心の醸成に取り組む。	保護者アンケート「学校が楽しい」 評価　A:85%↑　B:70-85% C:50-70%　D:50%↓	学校教育アンケート（保護者）	２学期	◎	保護者アンケート約９０%の肯定的回答	◎		◎	
			清掃活動に集中できるよう働きかける。 身の回りの整理整頓の啓発を行う。	児童アンケート清掃活動振評価 (A:85%↑B:70-85%C:50-70%D:50%↓)	学校教育アンケート（児童）	２学期	○	児童アンケート　低学年は約８５% 児童アンケート　高学年は約７０%	○		○	
		・年間安全計画に基づいた安全指導を行い，年間を通して健康で安全な生活をおくれるよう基本的生活習慣をふり返る。 ・運動に親しむ環境を整え，体力を向上させる。	げんき貯金（自分の生活を振り返り，よりよいものになるように考え実践する）	児童アンケートによる肯定評価 （低８０%以上 高７５%以上）	児童アンケート	各学期	◎	児童アンケート　低学年は約８９% 児童アンケート　高学年は約８９%	◎	教師が率先して運動場にでていることもあり，前年度よりポイントが向上した。	◎	・先生方の姿勢に感謝しています。 ・元気貯金で，健康についての振り返りはできているように思う。今後は，自分たちで怪我予防もできるような取り組みもしてほしい。
			・体力向上のための取り組み ・冬季期間に心拍数を上げる運動を取り入れる ・体育指導の手引きに基づいた指導	児童アンケート 体を動かしているか肯定評価 （低８２%以上　高７０%以上）	学校教育アンケート（児童）	２学期	◎	低学年約８５% 高学年約８０%	◎		◎	
（地域連携）	郷土愛の育成	・ホームページ更新や地域連携を通して「開かれた学校づくり」に取り組む。 ・中学校区での交流を通して，郷土百舌鳥を愛する児童を育成する。	学校ホームページ，校報等を活用し，学校教育活動の発信をするとともに，地域行事への参加に努める。	学校ホームページの毎日更新。地域行事（百舌鳥八幡宮祭礼，陵南フェスタ，北区交流まつりなど）に率先して参加する。	実践報告	毎月 随時	○	学校ホームページを積極的に更新。陵南フェスタでは，中学生の参加が増え，より一層交流が深まった。	○	ホームページ・広報「もずっ子」を通じて，学校の様子は発信できた。 中学校区で情報交換，課題の共有を図った。中学校区での合同研修を実施した。	○	・来年度からは，中学校群が始まると聞きました。どんな取り組みがされるのか，楽しみです。
			中学校区での交流や合同研修を通して，情報交換，課題の共有，課題解決に向けての具体的な取組を行う。	A:85%以上　B：70～85% C：60%～70%　D：59%以下	学校教育 アンケート	２学期	△	中学校区で情報交換，課題の共有を図っている。中学校区での合同研修を実施。合同研修が，年に１回だったため約 52%だった。	△		△	

校長より（年度末）

今年度は，「子どもたちが笑顔で登校し，朝の挨拶からはじまり，『また明日』と言って手を振って笑顔で帰る。」という平凡な日常を大切にしていこうと取り組んできました。来年度は学校群開始もあり，学校行事を見直し，子どもたちが本校で充実した一日を送れるように，日々の授業改善や学習環境の向上等に努めていこうと考えています。

学校関係者評価者から（年度末）

中学校区での学校群としての取り組みに期待するとともに，学校と家や地域と連携しながら，安全・安心のもと，心豊かな子どもの育成に努めてもらいたい。